

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL

132

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

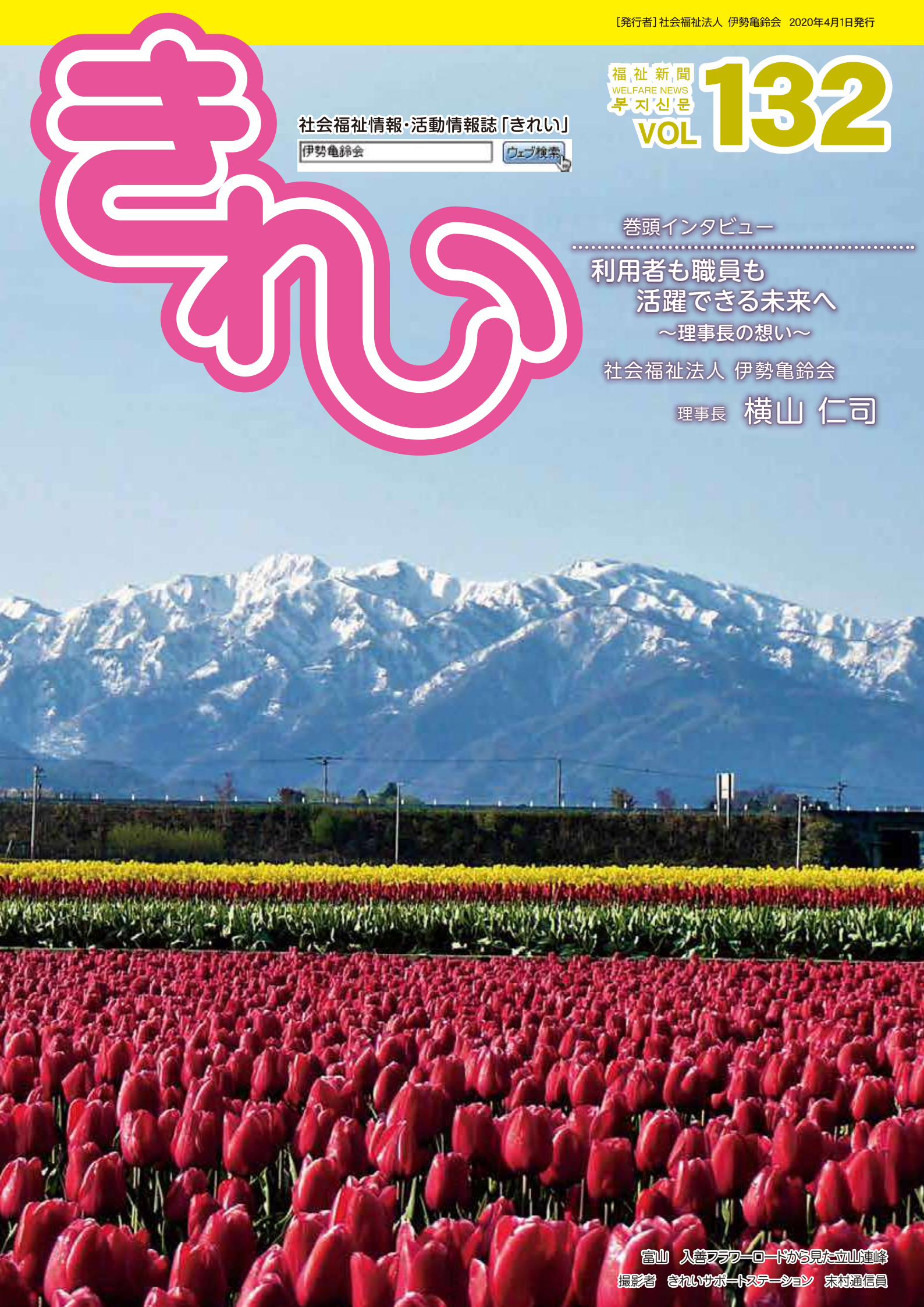
ウェブ検索

巻頭インタビュー

利用者も職員も
活躍できる未来へ
～理事長の想い～

社会福祉法人 伊勢亀鈴会

理事長 横山 仁司



富山 入善フラワーロードから見た立山雄峰

撮影者 きれいサポートステーション 末村通信員



春の立山

この冬は、暖冬で、積雪の無い冬でしたね。それでもこの時期、北陸地方は、三重県より遅い春が訪れます。表紙の富山県入善では、フラワーロードが開催され、チューリップと、菜の花、桜が同時に咲き誇り、雪の立山連峰をバックに絶景が見られます。桜前線を追いかけてみてはどうでしょうか？

目次

■巻頭インタビュー ————— 1
利用者も職員も活躍できる未来へ
～理事長の想い～

社会福祉法人伊勢亀鈴会

横山 仁司 理事長

■なかま ————— 6
聖火ランナー決定おめでとうございます
南勢就労支援センター利用者 松原 浩二さん

■ハートフルリレー ————— 7
あなたらしい作業を行える支援をしたい
八野生活介護センター作業療法士 中村 清美

■職員の休日 ————— 8
仕事もプライベートも時間を有効活用！
八野就労支援センター 課長 川口 明良

■道のり ————— 9
福祉葬祭三重 新商品

■春夏秋冬 ————— 10
行事・クラブ・活動紹介

■きれいとピックス ————— 18
永年勤続表彰
還暦&成人の祝い
駐車場完成
石川正江さん ありがとう

■きれいの動き ————— 表3
新職員・人事異動他

利用者も職員も活躍できる未来へ

～理事長の想い～



社会福祉法人伊勢亀鈴会
横山 仁司 理事長

A：I・O・Tの導入

Q1. まず、中期事業計画にもあったA-Iの活用に関して、介護現場ではどのように活用するのでしょうか？

理事長：中期事業計画の中でも話した通り、A-IやI・O・Tというと、皆さん、精神的なイメージがあるでしょう？そうでなく、一番の目的は、介護現場における稼働をいかに削減するか。そして、削減した稼働を利用者支援へ120%注力できるようにする。

例えば、生活介護であれば、ケース記録、ケース記録をすべてA-Iに任す。

あるいは、利用者が急病になった場合、今だと、嘱託医に電話して、病院を紹介してもらって、病院の外來診療…と手続きが多い。それをI・O・Tを導入すれば、施設に居ながらバイタルデータ等を直接かかりつけの医師に送り、遠隔医療で時間も短縮、無駄な稼働も削減できるわな。

就労事業所であれば、工賃計算の計算式はある。でも、人が人を評価するのは難しい。だから、大量データ、ビックデータと言うんだけど、そのビックデータをA-Iに入れて、ロボットが客観的データでもって、工賃計算をする。

法人全体で言えば、就労事業所と同じように、職員の人事評価。上司が評価する訳だけど、上司が正しい計算式で評価するのはまず無理。だから、人事評価も過去のデータ実績に基づいて、評価もする。

あらゆる分野にA-I・I・O・T、ロボット、この3つは活用できるわな。

Q2. では、工賃計算で利用するA-I・I・O・Tでどのように利用者の工賃アップにつながりますか？

理事長：評価を二面的に見るんじゃないに、多面的な利用者に関わるビックデータ。

例えば、百の力がある人が百の仕事をするのと、五十の力しかない人が百の仕事をするの、どっちを評価する？

もともと百ある人が百の仕事するのは当たり前。

そやけど、我々の支援する利用者さん、五十の力しかないけど、百や百二十%の仕事したら、努力度からしたら、後者の方が評価が高いわな。

それが評価の基本。ところが、今の実態は、間違っている。せやろ？

今回のインタビューは、キャラバンを行った中期事業計画や令和2年事業運営方針について、また、理事長のプライベートや昨今の話題について、詳しくお聞きしたいと思います。

インタビューは、八野就労支援センターの岸です。宜しくお願いします。

努力せんでも百できる人と、最大限努力しても五十の力こそない人。一緒に評価するはおかしいじゃん。

健常者にしても、新入社員と二十年のベテランと、同じ目線で評価されたら、新入社員はたまったもんじゃないわな。

評価指標が正しくなれば、みんなのやる気も出る。生産性も上がる。そしたら、工賃を上げることはできるわな。

女性活躍の時代へ

Q3. 女性職員の活躍、こちらに関して詳しく教えてください。

理事長…女性の活躍に欠かせないのがIoT。今、コロナウィルスで会社行けやん人、今まさにそれやな。在宅勤務、テレワーク。

女性の活躍の場はいろいろとある。今までは男性社会の中で封じ込められてきた。

これから十年先には、おそらく介護職だけでなく、他の職種、例えば、営業に行つては介護したり、翻訳したり、とそれぞれの特技や資格を活かせる業務を行うようになる。

特に、女性はビジュアル系に強い。今後、5年以内に5Gが出てくる。5Gは高速大容量通信、映像の世界が送受信できる。NHKのハイビジョンの10倍の綺麗な画像がスマホやパソコンの中で表示できるようになる。そうになると、ビジュアルに強い女性の

出番になる。5Gは、マーケティングの力になる。ビジュアルで商品を買う時代が来て、そこからキャッシュレス還元も生まれた。その時に、介護職だからと特定するのではなく、世の中の先を読み、生活に張り合いをもつて、メリハリをつけて、女性職員に活躍していつてほしい。

エキスパート職能の導入

Q4. 来年度より、導入予定のエキスパート職能はどのように導入されていくんですか？

理事長…段階的にやっていくべきだと思っている。

当面、専門職と言われる、国家資格を持つている理学療法士や臨床心理士、言語聴覚士。ここから、始める。

何でかというところ、この人たちが部下を持つと、技術レベルが中々上がらない。技術レベルが上がらないと利用者支援のサービスが上がらないやろ。だから、上げる。

技術レベルを上げようと思うと、東京や大阪、先進的なところに行つて、専門的な勉強、セミナーや研修を受けて、技術レベルを上げていく。一般的な介護は介護職に任せとして入っても、みんな一緒にの仕事では、専門職の技術レベルがあがらないでしょ？

そのためのエキスパート。部下を持った

り、現場でのリーダーシップを発揮しろというのではなく、技術レベルをもっと高めしてほしい、それがエキスパート職能の導入の原点。

そして、そのあとは、介護職もエキスパートがあるでしょ？あるいは、就労事業の葬祭だつてある。例えば、葬祭ディレクター1級の資格を持っている人がいても、今は宝の持ち腐れじゃん。

だから、当然、全職場へエキスパート職能は導入していく。

ただ、導入初年度の令和2年度に全部導入して、終わりじゃなく、毎年、みなさんと面談をする。適性を見ていく。

今までは、資格を持つている人が意気揚々と入社したが、活かせないと離職していった人もいた。

だから、資格保有者がどんどん能力を活かせる人事制度を作ろう、給与体系を作ろうというのが発想の原点。今後、資格保有者にもどんどん活躍してほしい。



社内出向を公募

Q5. 今回、経営企画本部・営業本部への社内公募が実施されましたが、理事長はどういった想いで、公募に踏み切られたのでしょうか？

理事長…一つは、人事。人事の基本は適材適所。適材適所なんだけど、上司がAさんはここがいいだろうと決めていく。職員の希望を聞かずして、人事を一方的にやってみよう。その結果、適材適所でなく、離職につながる。これを防止したい。

公募は一つの手段。例えば、『介護職をしている。でも、企画力をつけたい、あるいは広報戦略を勉強したい、営業でお客様の声を聴きたい』そういう気持ちのある人が応募して、本部で2年間、勉強して、実践する。そして、自分の一番適材適所に配置してもらうための、いわば、デモンストレーションの場。

職員が、『私、こんなところがあるんです』と自己主張・アピールする。自分の意図したところと違うところに配置されたら、不幸でしょう？だから、自分の特性を発見してもらいたい。

社内公募は、民間ではよくある。ただ、僕の経験からすると、真面目な人は向いてない。

岸…どんな人なら向いているんですか？

個性の強い人。例えば、以前の会社ではね、

上司の言うことを聞かなかったり、髪の毛が真っ茶々の人とかね(笑)『出る杭を育てる』だね。今後、職員が介護や就労の枠に収まらないよう、どんどん外に送り出す。

5年後には、「スウェーデンへ2年間、ヨーロッパの福祉を勉強して来い」と、海外出向。これを考えている。

岸…すごく壮大ですね。きっと多くの応募があると思います。是非、実現してほしいです。

利用者工賃5万円に

Q6. では、利用者さんに関わる面で、利用者工賃の平均単価5万円達成に関して、秘策はありますか？

理事長…5万円払おうと思ったら、いつでも払える。今でも払える。どうやって払う？

岸…投資をやめますか？

理事長…投資はやっていく。当然、やっていかなあかんわな。

例えば、収益事業。葬祭事業とまかせ太君を外へ切り出して、株式会社を作ってもっと利益率を上げる。利益が出た分は100%、伊勢亀鈴会に寄付してもらう。

もし、1年で1億円の利益が出て、それをすべて寄付してもらう。それを工賃支払だけに反映したら、簡単にできる。

違うか？中期ビジョンで、説明したやろ？

収益事業のビジョン策定。一部業務のアウトソーシング、これ。ここで、事業の抜本見直しをして、就労系の総合会社を作る。

岸…今のままだと利益少ないのでは？

理事長…いやいや、こんな今の枠組みで考えるからダメ。社会的事業を株式会社でやるなら、もっと勤務時間を短くする。ただ、それをする、利用者さんが手取り減るでしょ？そうならないように、就労継続B型と一緒にして、社会的事業としてはやめる。こういうやり方もある。

ただ、それだと鈴木英敬三重県知事に頼まれた社会的事業をやめなくてはいいなくなる。だから、そんなことをせずに、葬祭事業と一緒にする。したら、できる。亀の図覚えとるか？中期ブランドデザイン。

社会的事業が赤字だったら、葬祭事業で補填する。民間企業のグループ会社の考え方と一緒に。

岸…株式会社化して、赤字補填できますか？

理事長…株式会社化する？つまり、民間企業になる。したら、できるやろ。今のままでは無理。福祉の冠がついているから、他所よりも破格的に安い。株式会社にしたなら、まかせ太君も葬祭事業も、価格戦略作って、きっちり収益事業にする。な？できるやろ。

プライベート秘話

Q7. 実は皆さん、聞いてみたいけど、あまり聞けなかった、理事長のプライベートについて教えてください。理事長の生きてきた中で、一番楽しかった時と辛かった時を教えてください。

理事長…楽しかったこと、人のすることはみんなやった。酒もギャンブルも…な？(笑)

岸…女性もですか？

理事長…一対一はね、得意じゃない。でもね、グループで、スキーやスケートに行ったり、ダンスパーティー開いたり。いつの間にか、そのグループのリーダーや司会にいつもなっていた。バスを5、6台連ねて、岐阜や長野まで行っていた。土日になったら、まず家にいなかったわ。例えば、百貨店の女性社員、病院の看護師さんのグループを集めて、職場の若手と遊びに行った。

ギャンブルは、あらゆるギャンブルをした(笑)競輪・競馬・競艇、もちろんパチンコもせやわな。ギャンブルというギャンブルはしやんギャンブルはない。それぐらい遊んだ。

岸…一番勝った時はいくらくらいだったんですか？

理事長…4人グループで何百万円(笑)それもある、僕が二十七、八歳のころに、親にから借りた

何百万円、株で大失敗。でも、遊ぶ金があるやろ？だから、安楽まで行って、さつまいも買つて、京都の市場に一晚中並べるわけ。で、売れるやん。売れた金で競艇。当時の十万円は大きいやん。こちよこちよ掛けやんと、最終レースに一発ぼーんと掛ける。ほとんど外れるけど、当たったら、1週間、スカイラインで京都の白夜つていう深夜喫茶に行つて、遊んだ。そんな遊びもした。

せやから、遊びつていう遊びはしたから、もういつ死んでも悔いはない。

岸…辛かった時は？

理事長…苦しかったのはね、僕らの時代つていうのは、日本の高度成長期の昭和40年50年企業戦士として上司に絶対服従。一年の間に午前二時四時まで仕事して、そのまま机で寝たのが、最低30回はあった。

つらいよ？上司はソファで足伸ばして寝ている中、自分の机で足も伸ばせず。4時ぐらいまで仕事して、机で寝て、6時半ぐらいに掃除のおばちゃんのお音で起きて、顔洗つて、また仕事する。それがひと月続く。大変やった。

岸…今じゃ考えられないですね。

理事長…それが当たり前やった。そんな中で、自分の子どもがまだ小学校1、2年、下の子が2、3歳のころ、土日帰れなくて、名古屋勤務

で、日用品を買いに松坂屋へ行くと、家族連れがたくさんおる。そついう光景を見るのが辛かった。自分は家族とも会えず、日用品を買いに行っている。なんで、自分はこんなことをしているのかと思つと辛かったな。

Q8. どうやって、その辛い時を乗り越えてきましたか？

理事長…使命感。もつ、そついう運命やと思つしかなかった。被害者意識でもつてしたら、潰れていたやろね。

48歳のころに、人事部長していて、11月から3月は毎日残業、帰れるのが午前二時、三時。タクシーもおらん、ハイヤーしかない。もう幻覚症状が起きる。後ろに倒れていく。

それでも、使命感だけや。もし、東海エリアの僕が倒れたら、全国、海外の人事も全部ストップするわけや。プレッシャーかかる。そつやつて乗り越えてきた。

Youtubeの活用

Q9. 昨今のメディアで、Youtubeがもてはやされていますが理事長はご覧になりますか？

理事長…見るよ。

岸…何を？ご覧になるんですか？

理事長…何という限定はない。情報チャネルのひとつとして見ているよ。

新聞もテレビもYouTubeも見ると、経営的なことがいつも頭にあるから、情報チャネルを多く持つようにしている。どんな小さなことでも情報を取ってくることは大事。トップになると色々な人とも会う。その中で、YouTubeの話が出てくるとは言えない。

情報は、取るだけじゃなし、すぐに誰かに話をする。仕事に活かす。そうしないと情報が情報じゃなくなる。聞きっぱなしは右から左、物知りなだけ。

情報は仕事で活かす。これが大事な事。

僕が介護サービス会議や色んな会議で、他の会社の事を紹介するでしょ？あれは、僕が忘れない為。皆さんに話すことで忘れない。

岸…実は理事長がYouTubeをご覧になると思ってたなくて驚きました。ほかのSNSなどはどうですか？

理事長…Lineだけは失敗したから(笑)アプリ入れたら、連絡先に入っている人、みんな入るでしょ？最初に設定するのを知らなかったから、もう大変。

沖縄から北海道まで、10年以上連絡とつけない部下や知り合いから「社長、Line始めたんですか？」って、すごい数。それに答えるだけで、ものすごい時間が掛かった。もうこれはあかん、と思ってやめた。

Q10：ちなみに、伊勢亀鈴会ではYouTubeチャネルを作ったりと、広報活動に力を入れていきますか？

理事長…今の経営企画のメンバーのスキルアップで、丁度、広報戦略を教えている。これを令和2年度は1年通して、テーマを決めて、研修する。そして、令和3年度は前年度の学んだチャネルの中からどれをどう活かしていくか、広報戦略を作っていく。

広報戦略を活かすのに、大事なのはマスコミと仲良くなる。マスコミと仲良くなると広く浅く情報が入ってくる。これが大事だから、教えてあげたいな。

常にチャレンジ

Q11：最後に令和2年度に向けて、意気込みをお聞かせください。

理事長…この歳になつて意気込みもないわな(笑)と言つても、やっぱり理事長として一番したいことは人材育成。

五年十年先の伊勢亀鈴会を背負っていく人を、何とか自分がいるうちに、育成していかなあかんと思つている。

職員一人一人をレベルアップしていきたいけど、僕一人では難しい。

だから、昨年度から階層別研修として、研修を行っている。中でも、中核人材研修。まぎしく、

これから核になる人。この人たちを福祉の狭い分野でなく、幅広い分野で活躍してほしい。

そして、利用者さんに対して、期待していること。是非伝えたい。利用者さんの潜在能力は無限だ。だから、もつともつと利用者さんの能力を発揮する支援をしてほしい。

どうしてもね、障害があると外に出ようと、体を動かさずとは思わない。でもね、外に出てかないと、体を動かしていかないと、どんどん固まっちゃう。

例えばね、利用者さんの中には、目が見えなくても僕の顔をこうだろうと想像力を発揮して、ねんどで造ってくれた。

無限というのはそういう意味。だから、もつともつと利用者さんにもチャレンジしてほしいし、職員はそれをサポートしていつてほしい。

まだまだ利用者さんが遠慮している。利用者さんも職員もお互いがチャレンジして、サポートして、成長していく。人間は無限の可能性がある。やらんだけ。もう年やで…とか言わないで、僕みたいにゴルフでスコアを度外視して、飛距離だけは誰にも負けたくないって思いながら、挑戦して

ほしい。日々、なんとなしに過ごすんじゃないくて、なんでもいい。挑戦していつてほしいな。

そんな社会福祉法人になつてほしい。



利用者さん手作り、理事長の顔



聖火ランナー 決定おめでとうございます

南勢就労支援センター利用者 松原 浩二 さん

今回紹介させて頂く「なかま」は、南勢就労支援センターの松原浩二さんです。松原さんは、今年開催される東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーを務める事が決まっています。インタビューでは聖火ランナーに向けての意気込み等について伺いました。



・聖火ランナー決定おめでとうございます。

まずは、聖火ランナーになぜ申し込もうと思ったのですか？

松原さん…TVで誰でも走れると言っていて、僕でも走れるんだと思いました。オリンピックには出れないけど、何らかの形で関わりたいと思ったから申し込みました。

・走る日程や場所は決まっていますか？

松原さん…4月8日に走ることが決まっています。場所は伊勢市内を走ることには分かっていますが、詳しいことはまだ決まっていません。

・当日に向けて何かされていますか？

松原さん…当日は1.2kgあるトーチを持ちながら走らなければならなので、同じくらいの重さのものを持って走る練習をしています。

・最後に聖火ランナーへの意気込みをお聞かせください！

松原さん…聖火が無事に東京に届くように、オリンピックが大成するように願いながら頑張って走って、次のランナーに聖火を渡したいです!!



ありがとうございました。インタビューを通して、「自国開催のオリンピックを盛り上げるんだ!」という思いが伝わってきました。ぜひ頑張ってください!!



※この記事は2月末にインタビューしました。現時点での走る日程は未定となっております。

あなたらしい作業を行える支援をしたい

八野生活介護センター 作業療法士 中村 清美



利用者さんの輪の中で



食べやすさを
一緒に考えます。

初めまして。私は作業療法士の中村清美
といます。令和元年6月から、八野生活介
護センターで週に1回、月曜日に勤務してい
ます。センターで暮らす方たちの高齢化や障
がいの多様化などで、食事動作をはじめとす
る日常生活や、就労の困難を抱える方たち
がいらつやいます。そんな方たちの動作指
導や余暇活動などの支援と一緒に考えてほし
いとこの依頼があり、縁あつて勤務すること
になりました。作業療法士には療育施設や特
別支援学校でお世話になったよ、という方も
いるかと思いますが、私が以前に勤務してい
たのは介護老人保健施設で主に高齢者の方が
対象でした。そのため、こんな私が八野の皆
さんに何ができるのかで不安でした。

でも、作業療法士の役割とはどこにいても、
誰を対象にしても「その人にとって大切な作
業が何か」を考えること、「その人の大切な



訓練は笑顔で!

作業がどうしたらうまくできるのか」を対象
者と共に考えること。だとしたら老若問わず、
また障がいの違いによらず、何か役立てるこ
とはあるのではないか、と思つてできること
から関わらせていただこうと思つています。
(もちろん、すべてのことを解決できるスー
パーマンではないですが)

週に1回ですが、八野を利用する方たちの
生活が少しでも楽しく、生き生きとできるよ
う、機能訓練だけでなく、遊びだつたり手芸
だつたり音楽だつたり…様々な工夫をして豊
かな日常になることを支援したいと思ひます。
どうぞよろしくお願ひいたします。

職員の休日

OLIDAY



仕事もプライベートも時間を有効活用！

八野就労支援センター 課長 川回 明良

仕事もプライベートも時間を有効活用！これが僕です。

休日は朝早くからバット振って、ボールを投げて、怪我しないように走って、大好きな野球を大切な仲間としています。野球と仲間には「人と人との繋がり」の大切さを教えてもらいました。

野球ばかりですけどね！そんな事を思われがちですが…イヤイヤ…きれいな景色と美味しいものにも目がありません。その為なら結構どこまででも旅に行っちゃいます。

そんな僕にもひとつだけ苦手なものが観覧車…高いところが大の苦手なんです。この日も眺めるだけの休日でした。

体を動かし、心を癒し、お腹を満たし、その活力が明日の仕事へ繋がっています。

「出来ないんじゃない。やらないだけだ」恩師からもらったこの言葉が僕の座右の銘です。

これからまだ見ぬ未知なる挑戦をして邁進していきますので、よろしく願います。

道のり 福祉葬祭三重 新商品

福祉葬祭三重の設立から十余年。今回、福祉関連商品が新たに仲間入りをした。

一つは、第2南勢就労支援センターで作っている「わくわくジャム」だ。以前より、籠盛として商品がある。今回は返礼品としてご用意した。

「より多くの方に、安全で安心で美味しいものを。また、福祉商品へのご理解を頂きたい。」葬祭に携わるスタッフのそんな想いから始まった。

梱包素材やジャムの量、いろんな壁に当たった。第2南勢就労支援センターの本山係長をはじめ、きれいなサポートステーションの職員・利用者さん、皆で考え、試行錯誤し、ようやく形になった一品だ。



もう一つは、籠盛の海産物セットだ。遠方から来た親戚や友人・知人に地場のものを、と考える喪主様の想いを形にした。

今回、この籠盛を作るにあたって、ご協力いただいた「まるかつ」様。伊勢亀鈴会の理念、福祉葬祭三重の方向性をご理解いただき、非常に快く取引に応じて頂いた。

「まるかつ」様、ありがとうございます。

株式会社まるかつ

〒510-0242 鈴鹿市白子本町 18-16

営業時間：9：00～18：00

八野生活介護センター

八野のお正月遊び！

令和2年のお正月。デイルームには、お正月の壁画が飾られた。利用者さん一人ひとりの願い事が絵馬に書いてある。そして正月遊びとして、かるた取り、福笑いなどをした。かるたで大騒ぎ、福笑いで大笑い、利用者さんはみな、いきいきと取り組まれている。



福笑い 上手くできた？



絵馬に願いを



かるた取り



輪ゴムで射的



カラフルに出来た！



心地よい緊張感があります。



クイリングアート



ハンガーモップ

手芸クラブは、月に4回利用者9名で活動を行っている。題材はいつも利用者さんの好きなものを選んでいく。クリスマス時期にはリースやツリーを制作。森まつりではいろんなラベンダーグッズを出品した。2月はハンガーのモップ作り、また紙をまるめてアートを作る、クイリングアートにも取り組んだ。和やかな雰囲気の中でひとつのことに集中できる、大切な時間となっている。

手芸クラブ

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA稲生

初めての外食イベント！
「すたまな太郎&ポートタワー」

URAURA稲生初の外食イベント！今回は四日市にある「すたまな太郎」に行った。事前の約束事として、「食べられる分だけ」ということを守りながら、「これにしよう」「おいしそう〜」とみんな食べたいものを選んだ。モリモリ食べ、お替りもし、おなかいっぱいになった。食事の後はポートタワー見学。他のお客様さんがおらず、ほとんど貸し切り状態の中、窓の外をじっと見つめたり、モニターのクイズを一生懸命したりと、思い思いの時間を楽しむことが出来た。



お〜見える見える



次どれ食べようかな〜



美味しい！



綿菓子、うまくできるかな？



ジオラマを観察中

放課後等デイサービスURAURA八野

人との関わり方を学ぶ



距離感を学ぶためにまず自分を大切にしよう！



知っている人との距離はこれくらいだよ



この距離が必要なんだ



すぐろくのルールを守って出来たよ



距離がみえるとわかりやすいね



ちょっと近いかな



すぐろくてこういうルールなんだ

人との関わり方を学ぶことをテーマに活動に取り組んだ。自分との距離に対して、家族・友達・知らない人・医者等といった、普段の生活の中で関わりが多い人たちを例に距離感を学んだ。サークルの中心を本人とし、色付けをしたどの色に誰が入るのかを体感した。その他にもすぐろくなど、ルールの分かりやすい活動を様々に行った。人と関わる中での、ルールや約束事を守ることの大切さも、それぞれに感じていただけたのではないだろうか。

八野就労支援センター

お正月を楽しもう！

1月の青空学園は新年を迎えて初めてということもあり『福笑い』・『カルタ』・『紙飛行機と紙風船』などお正月ならではの遊びや、昔ながらの遊びを学び、体験し、お正月を楽しもう！がテーマであった。

そして特別ゲスト、大道芸人のわくわくブーブさんが登場！世界トップレベルのパフォーマンスを目の前で見せていただき、みんな大興奮！

ボールとブロックを使ったジャグリングだけでなく、ボウリングのピンのような形をした『クラブ』や、大きなコマを紐で操る『ディアボロ』という道具を用いたジャグリングなど実に多種多様の技を披露してもらった。

学び、体験することが今回のテーマということでわくわくブーブさんに教えていただき、全員で『ジャグリングスカーフ』と『皿回し』にチャレンジ！それぞれ何回も挑戦してコツを掴んでもらった。最後にはお披露目タイム！数名ずつ前に出て皿回しを披露してもらった。拍手や歓声がたくさん上がり、みんなの自信にもつながったようだった。



トークも愉快的な
わくわくブーブさん♪



皿回し大成功！



ジャグリング
スカーフに挑戦



目にも止まらぬ
早業でした



竹の棒で対抗！？



ひえ～！

2月3日(月)は毎年恒例の豆まきを行った。狙うは赤鬼と青鬼！みんな豆を握りしめて準備は万端だ！
鬼も豆に当たるものかと「逃げる・隠れる・伏せる」で対抗していたが、四方八方から投げられる豆にさすがの鬼も降参したようだった。

みんなで豆まき



鬼の気持ちがわかったかも？

今年は突然利用者さんが鬼役に!?なんて演出もあり、最後まで笑いの絶えない豆まきだった。



鬼は外～！

きれいサポートステーション

新春カルタとり大会



手作り和紙を作ったよ

オリジナル カルタ作り



どれかな?どれかな?

「お正月にカルタをしようよ」「せつかくなら、手作りのカルタを作ろうか」「じゃあ、紙からつくってみよう」という声から始まった今回のカルタ企画。「簡単、簡単」と思っていたのが、大間違い!実は手間のかかる作業だった。牛乳パックを再利用、ちぎったパックを水に浸けたり、煮込んだり、ミキサーにかけたりと試行錯誤。液状(?)に戻ったパック溶液に液体糊を混ぜ、型に入れる。そして、手作りした紙すき用の型に流し込み、約2週間かけて紙を完成させた。

ようやくできた紙に、思い思いに絵を描き、読み札を書き、個性豊かなカルタができた。あがった。

そのカルタを使って、利用者みんなでチーム対戦。仲間同士応援し合って、白熱したバトルが繰り広げられていた。

第3回 選ぼうイベント開催

三回目を迎えた選挙行事。年度末の行事として恒例となりつつある。今回は、うどん道場、温泉同好会、パワースポット巡りから選んでもらった。色々と趣向の違う内容に、選ぶ時からどれにしようか?と、盛り上がりつつあった。

◇うどん道場 2月8日(土)、

総勢30名で、亀山青年研修センターの調理室で手打ちうどんを作った。粉から練り上げ、手でこね、足で踏みコシを出し、麺棒で板状に伸ばして包丁でカット。茹で上げたうどんに好きな具材をトッピング。コシがあり過ぎるうどんに舌鼓。皆さん、なかなかの腕前であった。



力を入れて、粉をこね、..



手作りうどんの完成!!



温泉同好会 さるびの温泉

◇温泉同好会 2月15日

(土)、総勢34名で、伊賀の里さるびの温泉へ。源泉かけ流しの美肌の湯に、じっくり二時間、湯つたくり、のんびり浸かって、女性はもちろん、男性も湯より美人に!

◇パワースポット巡り

2月22日(土)、総勢11名で、椿大神社へ。緑豊かな木々に囲まれた境内。普段は行かないだろうな...という場所も巡って、神聖な空気を肌で感じて、たくさんパワーをいただいた。



大吉、ひけたかな??



良縁が生まれる「かなえ滝」

南勢就労支援センター

鏡開き

1月11日(土)鏡開きを行った。鏡開きとは、正月に神仏に供えられた鏡餅を割って食べる日本の伝統行事である。鏡開きのお餅を食べると、その一年ケガや病気をしないとされている。

南勢でふるまった鏡餅は、伊勢の内宮さんに奉納されていた鏡餅。ついつい大きな効果を期待してしまつた。

ぜんざいと、きなこ餅の2種類から選んでいただき、ふるまった。みなさん「おいしいおいしい」と食べて下さり、中には何回もおかわりをされている方もみえた。

頂いたお餅も、用意したぜんざいも全てなくなり、鏡開きはお開きとなった。利用者さんの気持ち良い食べっぷりに、「用意し甲斐があった」と職員も満足気であった。

みなさんにとって、この1年がケガや病気の無い健康的な1年となりますように。



うんめ〜



仲良くぜんざい

南勢就労支援センターに鬼が来た!!

2月3日(月)節分の日のお昼休み、南勢就労支援センターに鬼がやってきた。鬼は玄関から堂々と入ってきて、南勢の廊下を闊歩していく。

鬼を見た利用者さんの反応はというと・・・

大きな声をあげて喜んでいる方、遠巻きに眺めている方、鬼の姿を見て固まっている方と様々。

最後には「鬼は外」「福は内」と叫びながら豆をぶつけて鬼退治。無事に鬼を追い出すことが出来た。

鬼の正体は宮の里の職員さん。毎年鬼に変装し南勢にやってきてくれている。体中にペイントを施した姿はまるで本物(本物を見たことはないが・・・)。

宮の里職員さん、今年もありがとうございました!!



名コンビ



利用者さんも鬼に変身!



鬼は〜外!!

第2南勢就労支援センター

おやつカンパニー工場見学 おやつタウン体験

2月14日(金)津市にある、おやつカンパニー久居工場に見学に行った。最初におやつカンパニーのイメージキャラクター「ほしおくん」の紹介をしていた。その後、ベ이스ターラーメンの原料となる小麦粉の貯蔵庫を見た。次は工場内で小麦粉から麺を形成するための機械や工程を映像と一緒に見学した。麺を形成した後は、自家製のタレに漬け込む工程、油で揚げる工程を見た。

この工程までくると、いつも見るベ이스ターの形になっていた。その後は、計量、包装、箱詰めの工程を見学し、工場見学は終了した。ベ이스ターの生産は検品以外の工程がすべて機械で行っていたことに利用者さんがびっくりしていた。

工場見学の後はおやつタウンに行き、昼食のカレーを食べた。カレーにベ이스ターラーメンが付いていて、それをカレーにかけて食べている利用者さんもいた。

食べ終わった後は、おやつタウンで自由行動となり、おみやげを買ったり、施設内の体験コーナーで楽しく過ごされていた。



シュート



今から工場見学だー



トリックアート前で



ほしおくんとハイタッチ



みんなでカレーだ



ここ落ち着くのだ



集合写真

宮の里ミタスメモリアルホーム

クリスマス会

昨年12月21日(土)、宮の里の食堂にてクリスマス会が開かれた。毎年の恒例行事ではあるが、今年は花壇に飾るイルミネーションも輝きを増し、日が落ちると共に、幻想的な風景となった。

クリスマス会当日、利用者さんは職員の出し物「二人羽織」「イントロクイズ」などなど、職員扮するサンタ、トナカイと共に楽しまれていた。また、自分の食べたいケーキに目を輝かせながら、じっくりと選んで堪能していた。



通所 正月の宴

令和2年1月3日(金)、通所が開所となり、新しい年が始まった。利用者さんに正月を楽しんで頂こうと、「正月の宴」が開かれた。職員による出し物「二人羽織」「獅子舞」を見て頂いた職員が二名一組となり、「おてもやん」の化粧をし、「福笑い」に挑戦。とても面白い顔が出来たときには、利用者さんも、お腹を抱えるほど大笑い。楽しいひと時であった。



二見生活介護支援センター潮音

伊勢女声合唱団の皆さま 初めまして！

1月23日(木)、「伊勢女声合唱団」のメンバー27名が潮音の日中活動にご参加いただいた。ゴールドと黒の素敵な装いで登場された。利用者さんの目はまん丸！そして、流れる歌声は優しく心地よく響き渡る。何とも穏やかな光景の中でゆったりと過ごされている利用者さんの姿があった。

絵かき歌のコーナーでは、「さんちゃんが♪散歩して♪」のメロディに乗せ、タヌキの絵が完成していく様子を楽しそうに見つめている利用者さんもみえた。

後半に差し掛かると、ボランティアさんがグループに分かれ、利用者さんの傍へ寄り添い、お話をしたり歌ったりと楽しそう。グループの交代も行いながら利用者さんとのコミュニケーションをとってくださるなど、工夫を凝らしたプログラムでの訪問であった。



伊勢女声合唱団のみなさま



絵描き歌



ちょっぴり恥ずかしいかな？



利用者さんとのふれあいタイム

還暦&成人の祝い

還暦になられた利用者さん5名、成人になられた利用者さん5名、おめでとございます。健康に気を付けて、これからも頑張ってください。

成人

八野就労支援センター



明神 翔真 さん

これからの作業を頑張りたいです！

きれいサポートステーション



宮座 伸明 さん

今後の目標は一般就職をする為にまず、サポートで携わっているお仕事を全部出来るように頑張ります。

南勢就労支援センター



山本 清夏 さん

大人の自覚を持って頑張ります。



奥林 真由 さん

これからも休まず通い続けて、お仕事を頑張ります。

第2南勢就労支援センター



山口 美幸 さん

仕事頑張る！

還暦

八野生活介護センター



藤原 利子 さん

いつまでも楽しく過ごしたいです。



浅野 則子 さん

手や足がもっと動かせるようにリハビリ頑張ります！



小林 人見 さん

健康で長生きします。

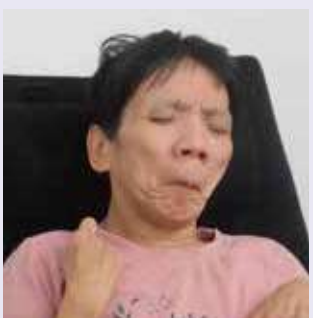
きれいサポートステーション



鈴木奈緒美 さん

仕事を頑張ってみんなのお手本になれるような人になり、施設外就労に行けるようになりたいです。健康のために運動をして体重を2kg減らします。

宮の里ミタスメモリアルホーム



山口 公代 さん

永年勤続表彰

1月13日（月・祝）、本年も京都伏見参拝、エフシブ八瀬離宮での永年勤続者表彰が行われた。

対象者には、横山理事長から表彰状と記念品が授与された。

永年勤続表彰の対象者それぞれ、今後の抱負を熱く語った。今後も活躍が期待される。



永年勤続対象者

20年

八野生活介護支援センター
伊勢社会的事業所

中前千絵
鍋島陽一郎

10年

八野生活介護支援センター

宮村勝也

八野就労支援センター
きれいサポートステーション

谷山美雪
酒井 勝
高木賢司
杉谷吉洋

5年

宮の里ミタスメモリアルホーム
八野生活介護支援センター

浅見香都
中野雅彦
北村直子
小西川浩志
田中玉枝
山名民子
浅川尚史
小野金平
鈴木美奈子
北山陽子
荻田知恵
大川光海
林 真弓
森 良子
中村 愛
中西美圭
村田紘子
林 浩子
三鬼拓弥
加納早由里
中川 修

八野就労支援センター
きれいサポートステーション

宮の里ミタスメモリアルホーム

南勢就労支援センター

第2南勢就労支援センター

中野雅彦
北村直子
小西川浩志
田中玉枝
山名民子
浅川尚史
小野金平
鈴木美奈子
北山陽子
荻田知恵
大川光海
林 真弓
森 良子
中村 愛
中西美圭
村田紘子
林 浩子
三鬼拓弥
加納早由里
中川 修

駐車場完成

2月10日(月)、八野に新たな駐車場が出来た。鈴鹿社会的事業所の花井さんを筆頭に、整備工事を自社にて取り行つた。今後、さらに拡張され、約30台が収容できる予定だ。



石川正江さん ありがとう



令和元年11月、長年、プロの葬儀司会者として福祉葬祭三重を助けてくださった石川正江さんが逝去されました。

石川さんには、福祉葬祭三重設立当初よりご尽力いただき、福祉葬祭三重の司会の礎を築いてくださいました。

突然の訃報に、我々の誰もが驚き、悲しみの深いものになりました。

福祉葬祭三重にとつて、なくてはならない、かけがえのない石川さんへの想いから、関係者や職員、利用者さんも含め、お別れ会を致しました。

マイクを持つお姿が今も目瞼に浮かびます。石川さんの想いを引き継ぎ、今後も御葬家に寄り添い、心に残る御葬儀を執り行つてまいります。

今まで、本当にありがとうございました。どうか、やすらかにやすみください。

きれい会営業本部



石田 勝己 本部長



岩崎 亜希子

宮の里ミタスメモリアルホーム



佐伯 千鶴



堀越 美幸

グループホームきれい



藤森 まゆみ



ホドリゲス美和

GWの上高地

編集後記

今号についても、たくさんの関係者の方にお世話になり、発行することができました。ありがとうございます。記事を見ていると、四半期の間だけでも、本当にいろいろな取り組みや出来事があるのだと、しみじみと思います。世間は新型ウィルスのために様々な影響が出ていますが、皆様方がどうぞ元気でご活躍されますように、お祈りしております。

編集長 木村

たくさんの方にご支援いただきました。
協賛企業 準備中です。※詳細は割愛させていただきます。

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホームでは、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいているが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター

担当:中野 TEL059-378-8881

宮の里ミタスメモリアルホーム

担当:塩見 TEL0596-58-5030

きれい通信

ちょっと寄り道!!

「いちべ神社」は勝負の神様

三重県鳥羽市 史上最強のパワースポット



ホテルの中庭に密かに鎮座する「いちべ神社」ですが、実は史上最強のパワースポットと呼ばれているのです。多くの有名人が、密かに参拝する「いちべ神社」そのワケは、勝負の神様の宿る、いちべ神社のパワーが、史上最強と呼ばれる位にすごいと云われているからです。

「いちべ神社」はご神体の聖石にそっと手を添え、自分自身に誓いをたてる聖なる場所です。

遭難した地元の漁師を助けた龍が舞い降りた石を御神体に、文政11年に建立されたと言われています。

また、万人を救う神様とされ、パワースポットとして崇拜されております。

恋愛、婚活、就活、受験、ビジネス、スポーツ、病い、投資、試合、など、皆様のここ一番の大切な勝負の前に、ぜひご参拝ください。

Access

所在地 鳥羽市安楽島町1075-113
マリテーム海幸園内
交通アクセス JR近鉄鳥羽駅より車約10分
TEL:0599-26-3711



指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA八野

〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881代 FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA稲生

〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130代 FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所

八野就労支援センター

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622代 FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉の森の家 体にいいおにぎり屋

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 空羅多ガーデン^(Gたかてん)

〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ

(第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182

(第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 御糸の杜^(みいとのもり)

〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい みや川

519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所

きれいサポートステーション

〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所

きれいライフステーション

〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

宮の里ミタスモリアル事業所

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

宮の里ライフステーション

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所

二見生活介護支援センター 潮音^(しおね)

〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所

南勢就労支援センター

〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉄砲塚728番地の18
TEL0596-58-0101代 FAX0596-58-6742
e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

お弁当屋 潮音^(しおね)

〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817

指定就労継続支援事業所

第2南勢就労支援センター

〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711代 FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 白子

〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 津

〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢

〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所

まかせ太君^(鈴鹿)

〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所

まかせ太君^(伊勢)

〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451